

農業委員会委員の応募者の情報 ※経歴や応募・推薦理由は、提出書類（推薦書・申込書）を要約して掲載しています。

受付番号	推薦・応募の別	候補者							推薦者							農地利 用最適 化推進 委員へ の応募 の有無				
		氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況		認定農業者 の該当・非 該当	個人の場合		団体の場合					応募・推薦理由			
										推薦者名	年齢	代表者氏 名	構成員数	構成員た る資格	事業内容					
1	団体推薦	中山雅博	農業	76	男	大学卒業後、株式会社に勤務、平成20年～農業従事、平成29年～農協の総代、平成30年～中水道利用組合理事、令和5年12月～春日部市農業委員	従事年数	18年	非該当			内牧2区 自治会連 合会地区 長折原紳 浩	500世帯	自治会会 員	自治会活 動全般	会社退職後は農業に専念し、作り方を工夫したり等、熱心に農業に取り組んできている。南彩農業協同組合の総代、黒沼中水道利用組合の理事として、地域の農業に力を尽くしている。また、農業委員として令和5年12月から活動しており、その経験を生かした活躍が期待できる。	無			
						主な 作付作物	水稻													
						耕作農地 面積	142 アール													
2	自薦応募	森本恒平	経営 コンサル タント	45	男	大学卒業後、個人事業主として開業、令和2年～(特非)地域活性化センター理事、株式会社設立代表取締役(一社)埼玉県中小企業診断協会理事、令和4年～埼玉県農業経営・就農支援センター(埼玉県農業経営相談所)専門家登録、令和5年～(特非)地域活性化センター代表理事、令和5年12月～春日部市農業委員	従事年数	-	非該当							現在、農業委員(中立委員)としての立場からの発言や研修企画等を実施してきました。現在におきましても、GAPをはじめとした農業特有の施策の活用等に関する取組を進めている最中です。今後は、行政の支援施策の認知等による活用率向上によって差を埋め、農業者の業績向上を目指し、農業としての維持発展、遊休農地の解消に向け、取り組んでいく所存です。まだまだやるべきことが多く残っているため、継続して農業委員を務めたく、応募いたします。	無			
							主な 作付作物	-												
							耕作農地 面積	-												
3	個人推薦	加藤富夫	農業	69	男	高校卒業後、昭和50年～農業従事開始、平成27年～土地改良区総代、令和5年12月～春日部市農業委員、令和7年～農水里環境理組合役員	従事年数	51年	非該当	石塚光夫	70					地域において「多面的機能支払い交付金事業」である農水里環境理組合の役員としてその活動に積極的に参加している。土地改良区総代就任の際は、地域の田畑の様子や農業経営の実態の把握に努め、地域の方に適切な助言をしていた。農業委員として、農業者との会話を意識的に行い、情報収集に務め、農業者が抱えている悩みや課題の解決に尽力していた。さらに土地改良区の役員と連携して農業環境保全に取り組んだり「地域計画」づくりを推進した。	無			
							主な 作付作物	水稻・野 菜		金子正己	75									
							耕作農地 面積	70 アール		岩井庄治	70									

受付番号	推薦・応募の別	候補者							推薦者						農地利用最適化推進委員への応募の有無		
		氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況		認定農業者の該当・非該当	個人の場合		団体の場合				応募・推薦理由	
										推薦者名	年齢	代表者氏名	構成員数	構成員たる資格			事業内容
4	個人推薦	森義晃	農業	72	男	高校卒業、株式会社に勤務、平成29年～農業従事開始、令和2年～庄和うまい米づくり友の会監事、令和7年～認定農業者	従事年数	10年	該当	石井茂	79					令和7年に認定農業者の取得をしており、これまで培ってきた経験と技術をさらに高めながら、持続可能な農業経験を目指して精力的に活動している。地域行事や農業者間の連携にも積極的に関わる姿勢は、地域コミュニティの維持・発展に欠かせない存在として高く評価されている。これまでの豊富な経験と深い地域理解を活かし、耕作放棄地の発生防止や農地の有効活用、さらには春日部市の農業振興に大きく貢献できる人材であると確信している。	無
						主な 作付作物	米		石原幹夫	64							
						耕作農地面積	900 アール		森正実	57							